

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 NPO 法人グローバルプロジェクト推進機構

1 事業の趣旨・目的

10万人を超える外国人住民が居住している兵庫県には、その4割がいわゆる新渡日者（ニューカマー）である。中国帰国者とその家族、インドシナ難民とその家族、日系南米人などが県内に点在している。しかし、彼らが、地域住民として「市民参加」しているのか、日本人住民との相互理解に基づく交流が十分なされているのかなどの観点でみるとまだまだ不十分である。

JEARN ふれあい日本語講座の趣旨は、「出会いと対話による学習」である。より実践力のある日本語習得を目的とした専門家による個別指導を縦系に、相互理解・相互学習を目的とした経験豊かな地域住民との日本文化交流を横系にした日本語教育を提供する。最終のゴールは、生活者としての外国人が、適切な日本語能力を身につけながら、地域で日本人住民と互いに助け合いながら生活してゆける土壌をつくることである。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
2008年 7月4日	4名	本事業の企画案の承認	日本語教育及び交流学習活動企画案の承認
2008年 9月30日	3名	交流学習・講師の承認 日本語教育連携団体との 連携の在り方	提案と承認
2008年 11月16日	3名	文化庁との契約について 財政問題	教授者・市民講師への 謝金・旅費の支払い
2009年 2月5日	3名	講座終了の報告 次期講座の企画案の承認	承認

3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称: JEARN ふれあい日本語講座
- ② 開催場所: 神戸市立海外移住と文化の交流センター
- ③ 学習目標: 日常生活に必要な読み書き・会話能力を磨く

④ 使用した教材・リソース

実用日本語教育推進協会 (TAHNK's) 発行の成人初級日本語
実践交流活動 (絵本製作、おりがみ、大正琴、着物、茶道道具など)

⑤ 受講者の募集方法

兵庫県国際交流協会の窓口にチラシを設置、また会員宛の通報に同封
財団法人神戸国際協力交流センター (KICC) の窓口にチラシを設置
自団体の会員へチラシの送付、THANK's で学習中の外国人への告知

受講者の総数 20 人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑥ 開催総時間数 (回数) 60 時間 (全 30 回)

⑦ 日本語教室の具体的内容 金曜クラス 10 名、日曜クラス 10 名

金曜日クラス (名前、国・理解可能な言語)

Bhan Lalit (インド・英語) Naito Marjorie (ブラジル・ポルトガル語) Menezes Marcec Yumi
(ブラジル・ポルトガル語) Paul Lefeure Venet (米国・英語) Sharwan Singh (インド・
英語) 金丁南 (韓国・英語) アニタリょう (中国・中国語) ルセルバシオ (イタリア・英語) Rasanya
Raman (インド・英語) Nahid Milakulili (イラン・英語), ロイヤダトサレヒアン (イラン・英語)

日曜日クラス

Amit Sharma (インド・英語) Gagan Chhabra (インド・英語) イルセ・サンス (ペルー・英語)
ハビエル・サンス (ペルー・スペイン語) Alberto Ratto (ブラジル・ポルトガル語) Rubenns Jose
Seraflm (ブラジル・日本語) セラフィル松本 (ブラジル・日本語) さいとうつねお (ブラジル・
日本語) 白川まりお誠一 (ブラジル・日本語) 白川桂子 (ブラジル・日本語)

回	開催日時	時間数	参加人数	講座名/学習内容	教授者・補助者人数
①	11月6日(金) 10:30~12:30	2時間	4人	実践交流学習「まちんと」 講師：高木洋子 (JEARN 代表) 海外の子どもたちが制作した絵本を見たあと絵本製作・発表	教授者 8 人 補助者 3 人
②	11月8日(土) 10:30~12:30	2時間	3人	実践交流学習「まちんと」	教授者 8 人 補助者 3 人
③	11月13日(金) 10:30~12:30	2時間	10人	日本語学習、個別指導 THANK'S 発行の実用日本語教本	教授者 10 人 補助者 3 人
④	11月15日(日)	2時間	10人	日本語学習 個別指導	教授者 10 人 補助者 3 人

	10:30~12:30			THANK' S 発行の実用日本語教本	
⑤	11月20日	2時間	10人	日本語学習、個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10人 補助者 3人
⑥	11月22日	2時間	10人	日本語学習 個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10人 補助者 3人
⑦	12月4日	2時間	10人	実践交流学习「ねがい」 歌・歌詞指導 長田寿和子神戸市立湊中学校	教授者 8人 補助者 3人
⑧	12月6日	2時間	10人	実践交流学习「ねがい」 長田寿和子神戸市立湊中学校	教授者 8人 補助者 3人
⑨	12月11日	2時間	10人	日本語学習、個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10人 補助者 3人
⑩	12月13日	2時間	10人	日本語学習 個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10人 補助者 3人
⑪	12月18日	2時間	10人	日本語学習、個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10人 補助者 3人
⑫	12月20日	2時間	10人	日本語学習 個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10人 補助者 3人
⑬	1月8日	2時間	10人	実践交流学习「大正琴」 廣田元子名古屋市立戸田小学校	教授者 8人 補助者 3人
⑭	1月10日	2時間	10人	実践交流学习「大正琴」 廣田元子名古屋市立戸田小学校	教授者 8人 補助者 3人
⑮	1月15日	2時間	10人	日本語学習、個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10人 補助者 3人
⑯	1月17日	2時間	10人	日本語学習 個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10人 補助者 3人
⑰	1月22日	2時間	10人	日本語学習、個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10人 補助者 3人
⑱	1月24日	2時間	10人	日本語学習 個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10人 補助者 3人
	2月5日	2時間	10人	実践交流学习「おりがみ」	教授者 8人

⑲				亀井美佐子「ECC ジュニア教室」	補助者 3 人
⑳	2 月 7 日	2 時間	10 人	実践交流学習「おりがみ」 亀井美佐子『ECC ジュニア教室』	教授者 8 人 補助者 3 人
21	2 月 12 日	2 時間	10 人	日本語学習、個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10 人 補助者 3 人
22	2 月 14 日	2 時間	10 人	日本語学習 個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10 人 補助者 3 人
23	2 月 19 日	2 時間	10 人	日本語学習、個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10 人 補助者 3 人
24	2 月 21 日	2 時間	10 人	日本語学習 個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10 人 補助者 3 人
25	3 月 5 日	2 時間	10 人	実践交流学習「着付けと茶道」 石崎和美（神戸大学大学院） 支援者 2 人：北須磨高校茶道部	教授者 8 人 補助者 3 人
26	3 月 7 日	2 時間	10 人	実践交流学習「着付けと茶道」 石崎和美（神戸大学大学院） 支援者 2 人：北須磨高校茶道部	教授者 8 人 補助者 3 人
27	3 月 12 日	2 時間	10 人	日本語学習、個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10 人 補助者 3 人
28	3 月 14 日	2 時間	10 人	日本語学習 個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10 人 補助者 3 人
29	3 月 19 日	2 時間	10 人	日本語学習、個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10 人 補助者 3 人
30	3 月 21 日	2 時間	10 人	日本語学習 個別指導 THANK' S 発行の実用日本語教本	教授者 10 人 補助者 3 人

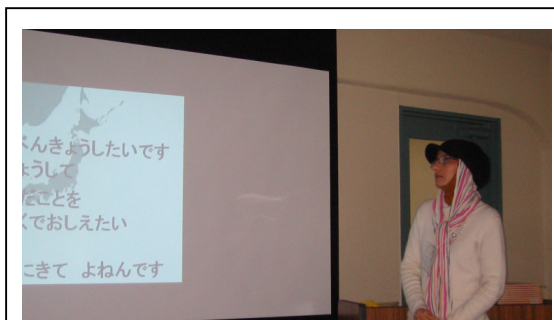


実践交流学習：おりがみ

⑨ 特徴的な授業風景(2~3回分)

11月29日(金):実践交流学习において、自己紹介をパワーポイントで制作して発表した。

受講生は初級レベルの人が多いため、個別に支援を行った。人前で日本語を使うことは、日本語を習得する上で有効な方法であることがわかり、その後実践交流学习の後の感想発表製作は毎回のタスクとした。(添付は日系ブラジル人の自己紹介)



実践交流学习：私の夢発表



個別指導風景

3月5日(金)、7日(日):実践交流学习において、「着付けと茶道」をテーマに行った。

支援者のおかげで多種類の着物や多くの茶道道具を使用できたため、受講者に種類や茶道の心を説明できた。説明は日本語のほか英語とポルトガル語に翻訳して手渡したため、受講者たちの理解も深まったようだ。この日は市民講師のほか、高校の茶道部の生徒もボランティアで参加してくれた。実践交流学习の後、彼女たちが「人のために何かをした経験はあまりなかったのですが、外国の方々がとても喜んでくれて、とても充実した思いがしました」と感想を述べていた。



1月8日(金)1月10日(日)実践交流学习において、大正琴をテーマに行った。

支援者のおかげで無料で受講者の人数分の大正琴が届いたので、受講者全員が大正琴を弾くことができた。ブラジルでは音楽の授業はないことがわかり、彼らの喜びようは大きかった。受講者の一人は、「大正琴はむずかしかったけど、毎週でもやってみたい」と、頬をあからめながら、感想を述べていた。



⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
関西ブラジル人コミュニティから数名	ポルトガル語(ブラジル)		5回	授業補助, 通訳

⑪ 支援者の名簿(⑦以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
廣田元子	名古屋市立戸田小学校	音楽	2回	大正琴指導
石崎和美	神戸大学大学院	着物着付け	1回	
明石友里	北須磨高校	茶道部	1回	茶道指導
東根佳寿	北須磨高校	茶道部	1回	茶道指導
亀井美佐子	ECC ジュニア教室	おりがみ	2回	おりがみ指導

4 事業に対する評価について

- ① 当初の学習目標の達成状況(自分の感想や気持ちを日本語で表すことを一つの学習目標にしていたが、1回目は教授者の細かな指導がなくては、気持ちの表現や書き取りができなかったが、最終回にちかづくにつれて、気持ちを文字にあらわすことが、序々にできてきたようだ。

最終回の実践交流学习の後にアンケートをとったが、交流会のあとだったこともあり、受講生の多くが非常に好意的な回答をしてくれた。

最終回にとったアンケート抜粋(回答者 20 名)

1. JEARN ふれあい日本語講座は楽しかったですか？

楽しかった 20 名、まあまあだった 0 名、楽しなかった 0 名

2. 4 月以降にこの講座が開講された時は、参加されますか。

参加する 12 名、参加しない 4 名(帰国、仕事の都合)、わからない 4 名

3. JEARN ふれあい日本語講座は、日本語学習として役にたつと思われませんか？

役にたった 20 名、まあまあ 0 名、役に立たなかった 0 名

② 学習者の習得状況

日本語での自己表現は、そのレベルや習得に個人差が見られたが、自己表現がとてもしょうずにできる受講生を見本にして、他の受講生もとても集中して学習を進めたため、習得状況はよかった。原稿は短く簡単なものでも、パワーポイントにして、皆の前で発表することで、スピーチをしているという実感や晴れがましさを感じたことも、学習の進歩に役立った。

③ 日本語教室設置運営の効果, 成果

日系ブラジル人の人たちは、多くは工場働いており、日本の経済の底辺を支えている人だが、長時間労働のため、学校などへ行く時間がなく、在日期间が長くても簡単な読み書きもできていないことがわかった。彼らに学びの場所を提供できたことは、彼らの学習に取り組む真摯な姿勢と学ぶ喜びを全身から表している様子を見たとき、移住センターで日本語教室を設置してよかったとおもった。

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

実践交流学習の活動は、地域・市民と外国人受講生たちを、日本文化でつなぐことも目的の一つだったが、回を重ねるたびに支援を申し出てくれる市民の方がでてきたことは、地域・市民も彼らに何らかの支援をしたかったのだと実感できてよかった。2010 年はこの地域・市民との連携をより広げて深めてゆきたい。

⑤ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状 学習効果を最大にあげるため、個別指導を基本におこなっている。

そのため、予算の問題で、受け入れる人数に限りがある。もっと多くの外国人住民を受け入れる体制と予算づくりが必要である。

b. 今後の課題: 個別指導は専門的知識のある教授だけで行ってきたが、今後は、ある程度訓練をつんだ経験のあるボランティアも活用する必要がある。また、この教室を地域に根付かせてゆくためには、市民との連携をもっと推進してゆく必要がある。

c. 今後の活動予定, 展望

日本語教室の継続を目標に、学習者の対象を、外国人中学、高校生に広げ、日本語学習を中心に学習支援をしてゆきたい。